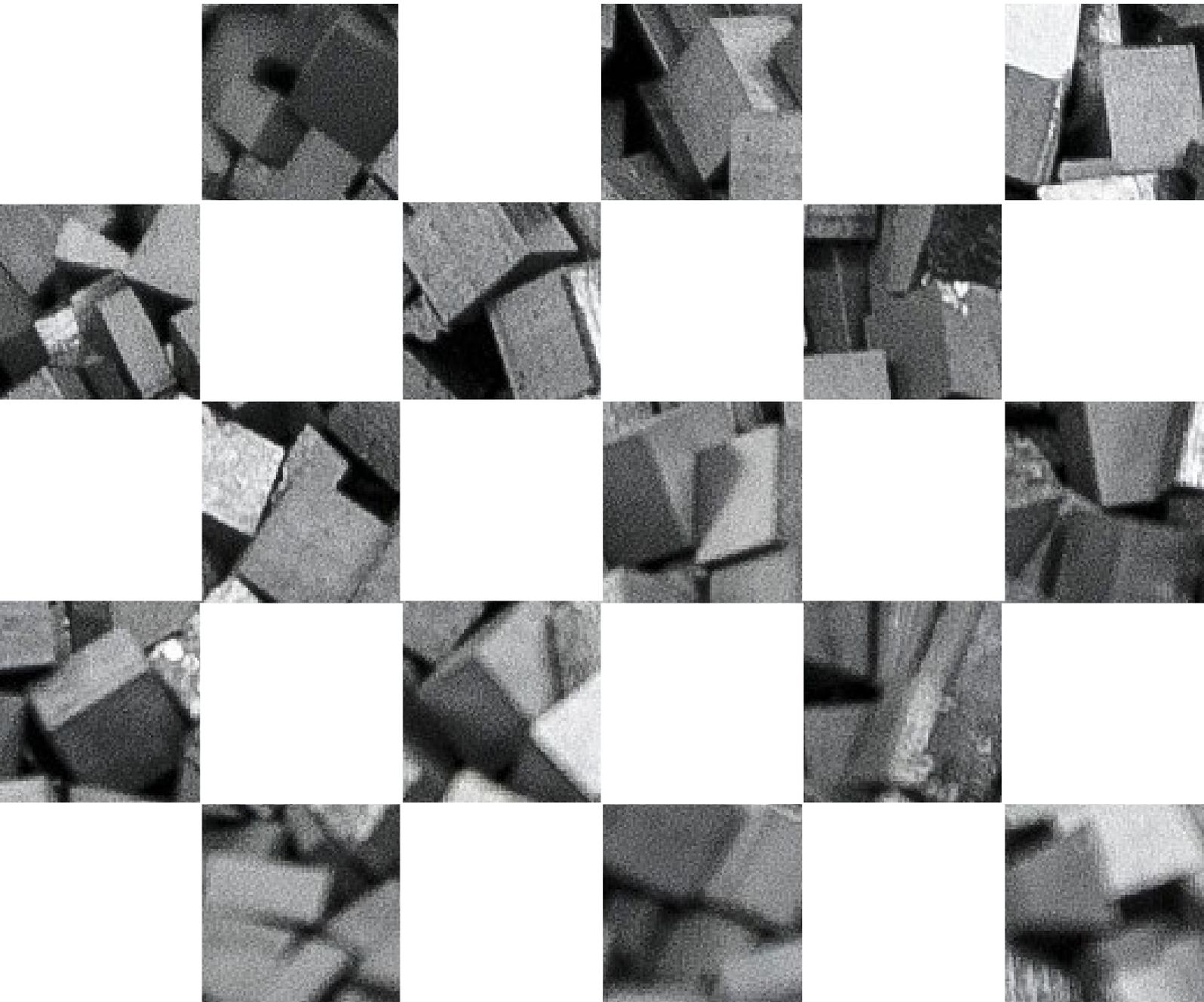


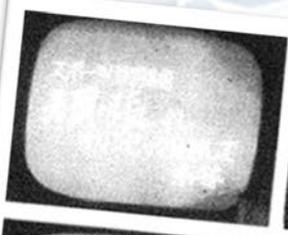
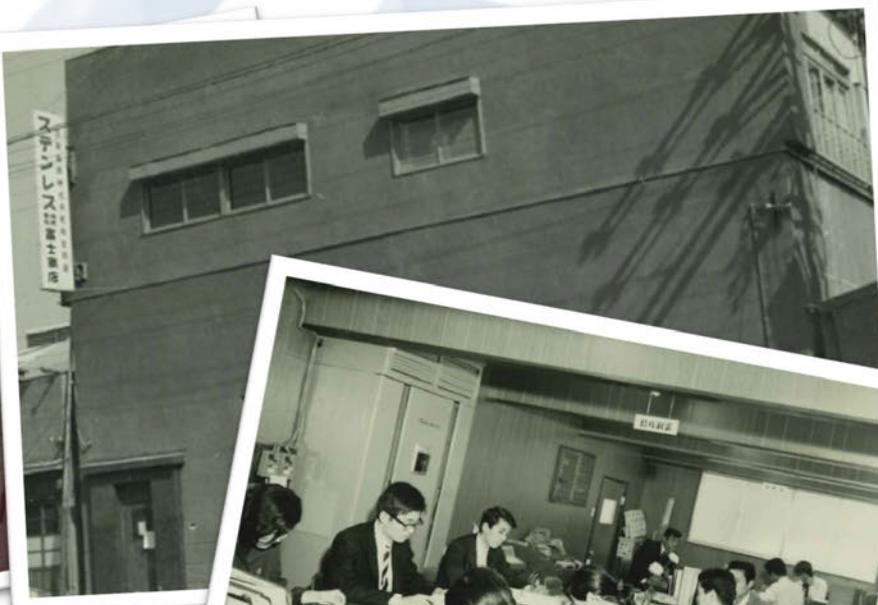


FUJIKOSAN CO., LTD.
富士興産株式会社

サステナビリティレポート
Sustainability Report
2024



FUJIKOSAN CO., LTD.
富士興産株式会社



ニッケル

水銀
タンクステン
ニクロム線
モイネ
ステンレス
スハ
肩及び上物
其他特殊金属売買

富士商店
代表者 小川金次郎
大塚市東町三丁目1番1号
電話 新町 53615

ハイス

ステンレス・ニッケル
タンクステン・水銀
特殊金属問屋 肩及出物

富士商店
代表者 小川金次郎
大塚市東町三丁目1番1号
電話 新町 53615

ステンレス

寸法切・結加工・在庫豊富
特殊鋼—ハイス・ダイオキス鋼—ニッケル
クロム鋼—異種鋼—異種鋼—異種鋼
製鋼原料—ステンレス鋼—ハイス鋼
特殊鋼種
特殊鋼種—ニッケル—クロム—モリブデン
鋼種—異種鋼—異種鋼—異種鋼
異種鋼種—ハイス—ダイオキス鋼—異種鋼
鋼種—異種鋼—異種鋼—異種鋼

目録製鋼株式会社指定代理
富士商店
大塚市東町三丁目1番1号
電話 新町 53615



目次

はじめに	P3	社会に関する取り組み	P18
サステナビリティレポート2024の作成にあたって		社会に関する考え方	
報告対象期間		ワーク・ライフ・バランス	
		基本的な考え方	
		有給休暇の取得促進	
		時間外労働削減の取り組み	
		勤務形態見直しによる業務効率化	
		ワーク・ライフ・バランスに関する社員の声	
富士興産の紹介	P4	職場環境の改善	
業務内容		職場のリニューアル	
富士興産のあゆみ		職場環境の改善に関する社員の声	
私たちが取り扱う「レアメタル」「レアアース」って何？		従業員エンゲージメントの向上	
「レアメタル」「レアアース」のリサイクルの流れ		SDGs社内報の発刊	
私たちが目指すサーキュラーエコノミー		社内サークル活動のサポート	
企業情報		社員の誕生日への対応	
私たちが富士興産を支えています（社員紹介）		健康経営	
		「健康宣言」事業所の登録	
		健康経営優良法人認定の取得	
		設置型社食サービスの導入	
		健康経営に関する社員の声	
サステナビリティに関する取り組み	P11	人材育成	
サステナビリティに関する考え方		人材に関する考え方	
ガバナンスに関する考え方		資格取得のサポート	
SDGs達成に向けた取り組み		社内SDGsクイズ大会の開催	
これまでのSDGs活動のあゆみ		業界他社との交流（視察研修）	
バリューチェーンマッピング		人材育成に関する社員の声	
マテリアリティ（重要課題）			
SDGsの達成に向けた主な目標			
SDGs宣言			
環境に関する取り組み	P14	地域との共生	P27
環境に関する考え方		地元教育機関への備品寄贈	
希少資源のリサイクル		舞洲（大阪市）プロジェクトへの参画	
気候変動問題への対応			
SBT認定の取得			
再生可能エネルギーの利用			
その他のCO ₂ 排出量削減の取り組み			
環境負荷の低減に向けた取り組み		さいごに	P29
ペーパーレスの取り組み			
当社のマテリアルバランス			

はじめに


 FUJIKOSAN
 富士興産株式会社

サステナビリティレポート2024の作成にあたって

富士興産株式会社は、特殊金属のスクラップ原料を扱うパイオニア的存在である小川金治郎によって1989年に設立され、本年で35周年を迎えました。

創業者の小川は、予科練特攻隊に所属し戦争を実体験しましたが、その際に希少金属の重要性について学び、その貴重な資源をいかにして有効活用していくかを常に考えるようになり、長きにわたりステンレスの社業で名を馳せました。その後、レアメタルに特化したリサイクル事業を立ち上げ、循環型社会に貢献すべく事業を展開してまいりました。私共はそのイズムを今日まで大事に引き継いできております。

企業に対してサステナビリティ経営が求められる中、2022年にSDGs活動を開始し、自分たちの業務が社会に対しどのように貢献できるかを全ての社員で学び実践しております。1年目のSDGs宣言で対外公表を実施、2年目にはSBT認定の取得としたあゆみから、この度はサステナビリティレポートを作成する運びとなりました。私どもの活動が実際にどのように社会に役立っているのか、環境負荷低減に貢献できているのか、実際にデータ数値から評価することで可視化を進めてまいります。カーボンニュートラルの推進が叫ばれている今日において、私共の扱うリサイクル原料の果たす役割が大きくなり、世の中においても関心や重要性が高くなっています。

循環型経済における新しい取り組みを考え、続けながら、持続可能な社会の実現を目指して邁進いたしますので、引き続きご愛顧のほどお願い申し上げます。

富士興産株式会社 代表取締役社長 赤嶺和俊



報告対象期間

2023年7月1日 ~ 2024年6月30日

ただし、今回は第1回目のサステナビリティレポートとなるため、過年度の取り組みについても一部含んでいます。

富士興産の紹介

～私たちの会社をもっと知っていただくために～



富士興産の紹介

サステナビリティに関する
取り組み

業務内容

希少金属であるニッケルやコバルト、チタン、タングステンなどのレアメタル・レアアースを中心とする特殊金属スクラップのリサイクル・回収、選別検収から加工、販売を専門業務としています。

近年は国内に留まらず、海外の仕入先・販売先との業容拡大を進めており、グローバルなリサイクルネットワークの構築にも努めています。



環境

富士興産のあゆみ

1950

富士商店を設立

創業者の小川金治郎が大阪市西区阿波座で富士商店を設立
特殊鋼鋼材・特殊金属・希有金属を売買する
個人営業をスタート

1953

大阪市浪速区西円手町に事務所・倉庫を移転

1959

富士商店を改組、株式会社化

1964

富士商株式会社へ社名変更

1987

富士商が大手商社の全額出資によりステンレス原料専門問屋となり、自身は社長を退任



創業者の小川金治郎



富士商店本社（1962年）

社会

地域との共生

1989

大阪市浪速区稲荷に富士興産株式会社を設立

レアメタル（特にステンレス・特殊鋼の原料）および非鉄金属を取り扱う

合わせて中近東・東南アジア方面の輸出入を行う

1994

大阪市西淀川区佃に倉庫移転
西淀倉庫とする

1997

大阪市住之江区平林に倉庫移転

2003

資本金2,000万円に増資

2004

資本金3,000万円に増資

2005

大阪市西成区北津守に倉庫移転

2007

大阪市大正区三軒家東に倉庫移転
資本金4,500万円に増資

2009

レアアースの輸入業務を開始

中国大手数社と契約を結ぶ

2010

リーマンショックの影響でデリバティブ取引による為替差損が発生し、負債約30億を抱え、3月16日に大阪地裁に民事再生法の適用を申請

2012

大阪市西成区南津守に工場新設

電池屑の粉碎加工設備導入

2013

当初の経営再建計画では7年間だった民事再生手続きを、わずか3年余りで終結させる
本社を大阪市浪速区元町に移転

2014

タイで合併会社を設立

工具鋼のリサイクルを中心にレアメタル原料を扱う拠点として立ち上げる

2016

小川眞弓が社長就任

社長を長女の小川眞弓に引継ぎ、自身は会長に就任

2019

富士興産創業30周年

赤嶺和俊が社長就任



2020

創業者 小川金治郎 死去

大阪市西成区北津守に第2倉庫として木津川倉庫を新設

2021

資本金9,000万円に増資

2022

大正倉庫を大幅リニューアル
太陽光パネル、大型空調設備導入

2023

中小企業向けSBT認定を取得



2024年の新入社員歓迎会の様子

私たちが取り扱う「レアメタル」「レアアース」って何？

- 埋蔵量が非常に少ない希少な非鉄金属で、全部で31種類あります（ニッケル、コバルト、チタンなど）。
- レア = 貴重な資源のため、世界中で取り合いが発生しています。
- 私たちの豊かな暮らしを支える自動車やIT製品などの製造に必要不可欠な素材です。

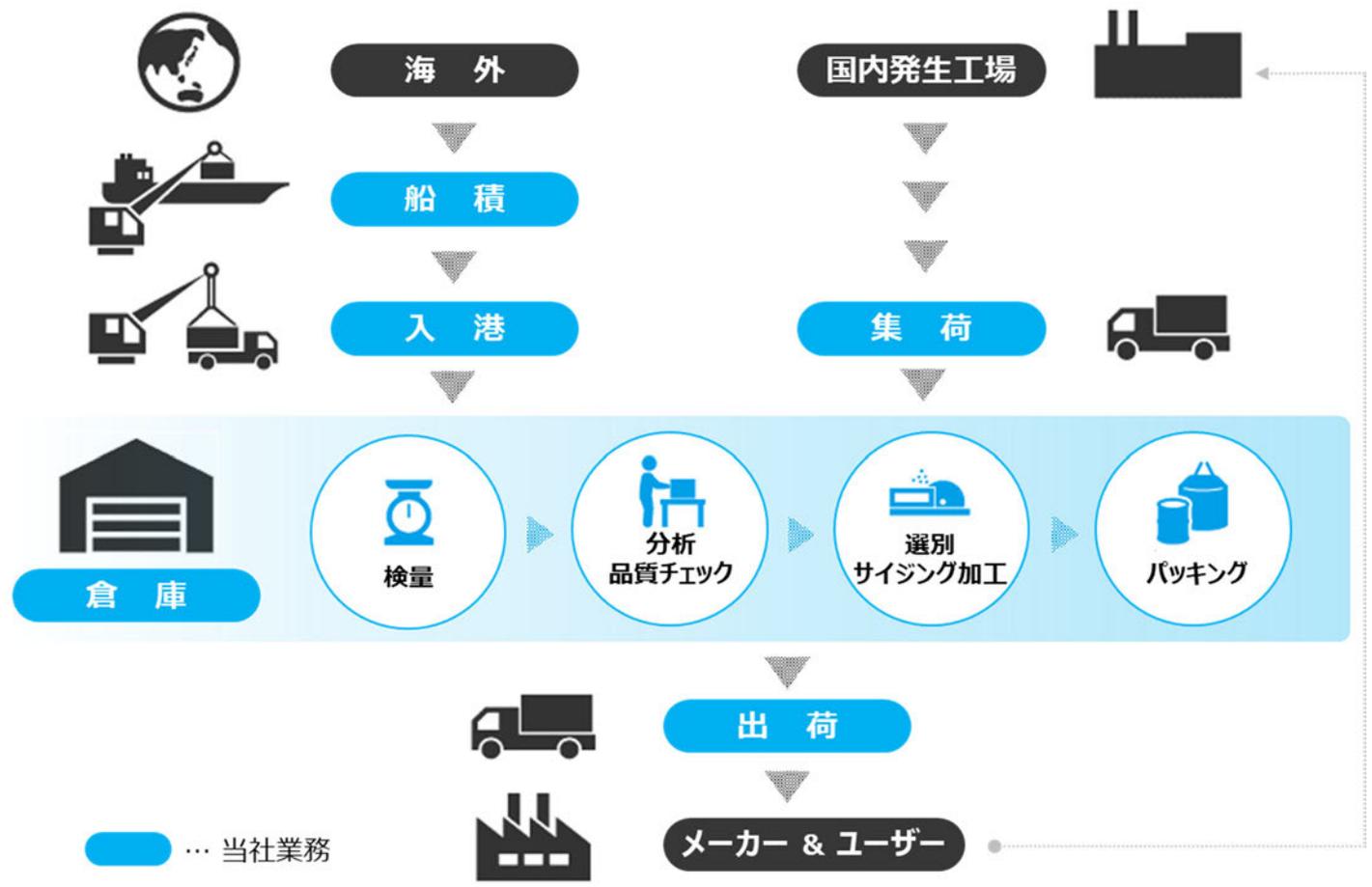
どのようなところで使われている？



富士興産の紹介

サステナビリティに関する取り組み

「レアメタル」「レアアース」のリサイクルの流れ



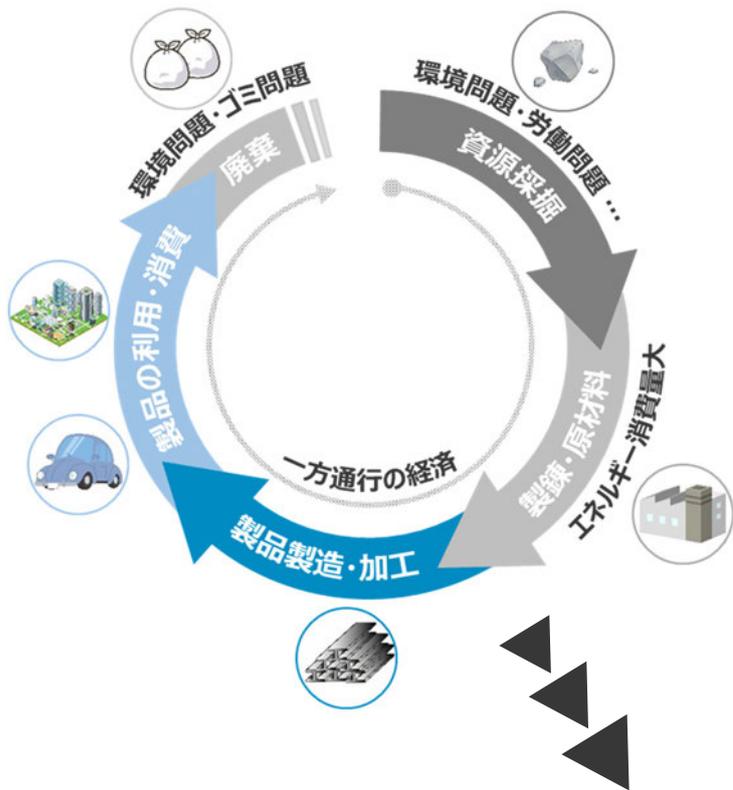
環境

社会

地域との共生

国内外問わず発生するレアメタル・レアアーススクラップのリサイクルフローの一端を担っています。当社倉庫では、集荷したレアメタル・レアアースの選別作業をはじめ、X線計や成分分析機を用いた分析の品質チェック後、リサイクル原料として製品製造メーカーに向けて出荷しています。

私たちが目指すサーキュラーエコノミー



一方通行の経済から

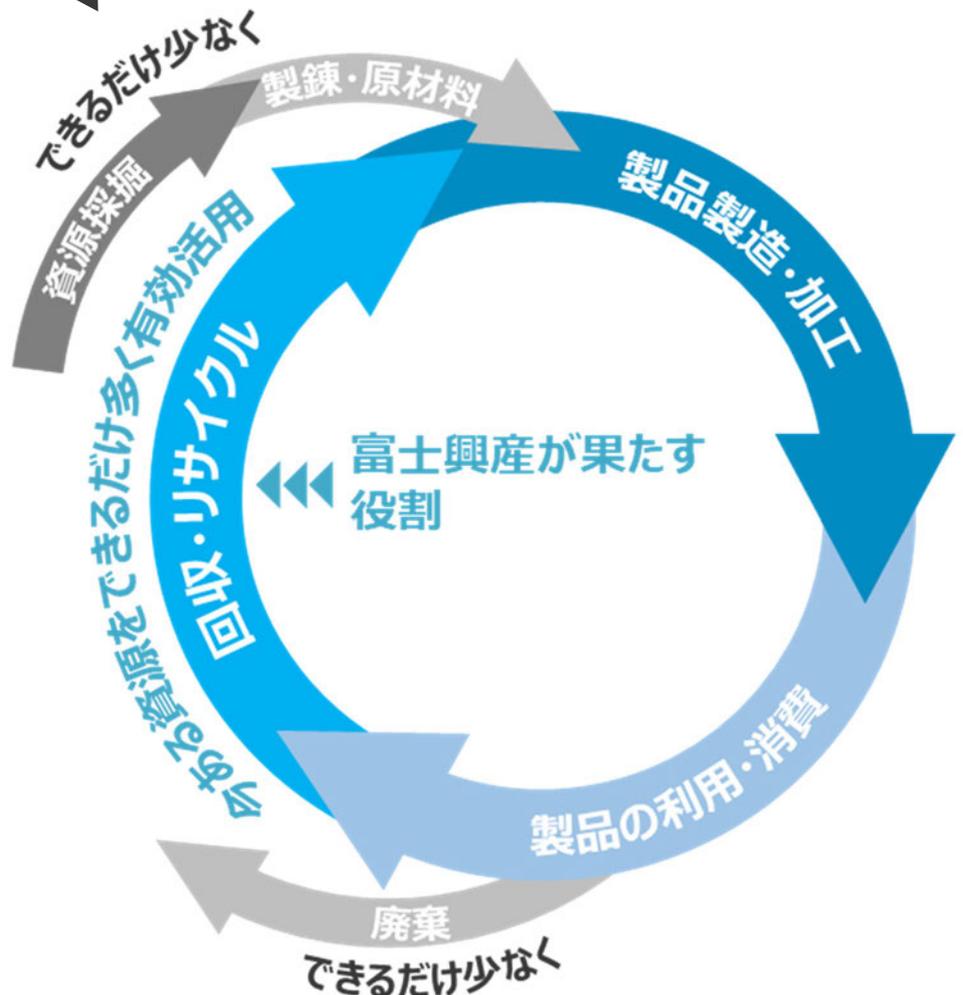
何らかの形で再利用が可能であるにも関わらず、廃棄処分されている製品は数多くあります。

この採掘→原料調達→生産→消費→廃棄という一方通行の経済では、いつか資源は枯渇し、地球環境にも悪影響を及ぼす恐れがあります。

循環型経済へ

リサイクルすればまだ使用できるにもかかわらず、廃棄されてしまうモノは世の中にたくさんあります。富士興産では、これらをできるだけ多く回収し、半永久的に新たな資源として活用していく事業を通じて、地球にやさしいサーキュラーエコノミーを目指しています。

またサーキュラーエコノミーは、採掘地域の環境問題抑制、エネルギー消費量の抑制にもつながり、温室効果ガス排出量の削減にも寄与します。



【ひとくちメモ】サーキュラーエコノミーとは？

資源投入量・消費量を抑えつつ、ストックを有効活用しながら、サービス化等を通じて付加価値を生み出す経済活動のこと（環境省）

企業情報

富士興産の紹介

サステナビリティに関する取り組み

会社概要

商号	富士興産株式会社		
英文名	FUJIKOSAN COMPANY, LTD.		
本社	大阪府大阪市浪速区元町1丁目5番7号（ナンバプラザビル10階）		
その他拠点	大正倉庫／大阪府大阪市大正区三軒家東3丁目7番14号 木津川倉庫／大阪市西成区北津守1丁目8番8号		
設立年月日	1989年7月（平成元年7月）		
資本金	90,000,000円		
役員	代表取締役社長 赤嶺 和俊 代表取締役 小川 眞弓 専務取締役 西尾 一 常務取締役 王 建強	常務取締役 小川 亮太 取締役 小川 俊子 取締役 小川 眞紀 監査役 永合 眞美	
取得免許	金属くず業許可証 1989年12月 大阪府公安委員会		
加盟団体	大阪商工会議所 (社)大阪府工業協会	(社)日本チタン協会 日本貿易振興機構（JETRO）	

事業所の紹介

拠点名	本社
本社	大阪府大阪市浪速区元町1丁目5番7号 （ナンバプラザビル10階）
開設年月	2013年12月（平成25年12月）移転



拠点名	大正倉庫
住所	大阪市大正区三軒家東3丁目7番14号
開設年月	2007年10月（平成19年10月）
敷地面積	1,330㎡
建物面積	1,000㎡



拠点名	木津川倉庫
住所	大阪市西成区北津守1丁目8番8号
開設年月	2020年4月（令和2年4月）
構造	鉄骨造地上1階建
面積	585.46㎡



環境

社会

地域との共生



詳細情報はこちら

【URL】 <https://www.fujikosan.jp>

私たちが富士興産を支えています（社員紹介）

R. O. 入社18年目 営業担当

入社のきっかけは創業者の前会長とは親戚関係だったため、声をかけて頂き21歳の時に入社しました。慣れない大阪での生活は、当初環境の変化に戸惑うことも多かったですが、優しい社員や取引先のみなさまのお陰もあり、すぐに馴染め、今ではすっかり関西がホームだと思えるようになりました。

この会社に入り初めて分かったこともあります。最初の現場検収の時、体にひどい湿疹ができて、痒くて夜も寝られないくらいになって、アレルギーの病院を受診したのですが、なんとそこで自分はニッケルアレルギーだと知ったのです。当時はもうこの仕事は続けていけないと退職を考えましたが、すぐに配置転換して頂けたこともあり、気づけば早17年。そんなニッケルともうまく付き合えています（笑）。会社も入社当時と比べ、働く環境が見違えるほど良くなり、社員のモチベーションも上がってきていると実感します。今後も社業の発展と働く環境をより良くできるよう自身の役割を全うしたいと思います。

K. O. 入社17年目 営業担当

中国から日本に留学中に富士興産という会社に出会い、そのまま就職しました。出身地に大手の鉄鋼会社があったり、レアメタルの産地でもあったことから金属関連会社は身近な存在でもありました。入社当時はまだ中国との取引は少なかったですが、その後の頑張りにより中国企業と取引が増え、次第に知らない中国のお客さまからも私目当てにビジネスの話をもってきてくれるようになりました。当時の興奮は凄かったのを覚えています。

今振り返ってみると、恵まれた環境で自分以上に生き生きと楽しく働いている仲間はいないのではないかと思います。とにかくこの会社は社員を信頼して仕事を任せてくれるので、特に若い社員にとってはやりがいがある会社だと思います。

ちなみに会社のSDGsの取り組みをきっかけに、小さなことかもしれませんが、意識してペットボトルのラベルをはがすように心掛けています。これからも公私ともに社会に貢献できるように努めてまいります。

K. T. 入社7年目 営業担当

たまたま自宅から近く福利厚生が充実している会社の求人募集があり、応募したのが入社のきっかけでした。今は営業を担当していますが、実は過去に営業経験があったわけではなく、性格的にも営業は不向きだと自分自身思っていました。こんな私でしたが、社長をはじめ周りの方のサポートもあり、仕事を通して営業スキルや対人スキルについて学び、身につけることができました。営業活動を通じて新しいお客さまを獲得できた時、社長がわざわざ私の席まで来てくれて「おめでとう」と言ってくれたのは、今もはっきりと覚えています。

今では、当初は難しかった貿易業務も一人に対応できるようになり、自分でも成長できたと実感しています。

会社はSDGsを積極的に推進していますが、それに触発されて私生活でも環境を意識するようになり、今では従来意識の薄かったごみの分別などにも取り組んでいます。

S. K. 入社7年目 経理担当

以前から社会貢献度の高いリサイクル業に興味がありましたが、男性ばかりの職場で不安もありました。しかし、会長の米寿のお祝いの記事を目にし、人柄の良さそうな写真に惹かれ勇気を出して志望しました。

日次業務として、仕入・売上計上と請求書発行などを主に担当しています。また、SDGs活動の推進メンバーでもあり、毎月のミーティングを重ね、月ごとのアクションプラン実績の進捗管理を行っています。

SDGs活動を通じて新しいことを学ぶことが多く、私にもできることはないかと以前より深く考ようになりました。今では社内報の発行を始め、社内のSDGs浸透、情報収集や資料作成など、充実した日々を送っています。今後も会社の発展と共に、自らも成長し続けられますよう努めてまいります。



K. K. 入社19年目 現場担当

入社して19年目になりますが、この会社はとにかく頑張ればしっかりと評価してくれます。私自身は経験が長い方になるので、同僚や若手社員に色々と相談される機会が多いですが、その時はすごくやりがいを感じます。

会社はSDGsの取り組みをはじめ、会社を良くするための様々な取り組みに積極的であり、そのために社員の意見もしっかり拾い上げてくれます。そんな会社の影響を受けて、私生活でもごみの分別や環境を意識するようになりました。これからも仲間とともに素敵な職場をつくっていきたいです。

K. N. 入社7年目 現場担当

富士興産は残業がほぼ無いうえで有給休暇が取得しやすく、公私ともに充実した生活を送ることができています。また私の意見もしっかりと拾い上げてくれる上司がおり、職場環境・チームワークは非常に良好です。そのため、社外の友達と会社の話になった時、改めて自分が恵まれた環境の会社にいることを実感できます。

もちろん仕事は簡単ではないですが、仕事量が多い場合に上手くこなすことができた時は、凄くやりがいを感じます。

M. Y. 入社7年目 現場担当

リサイクル業ということで、外から見るときつい仕事のイメージを持たれがちですが、既存の資源を有効活用する仕事であり、実はすごく社会に貢献している会社なんです。会社はSDGsに積極的に取り組んでいます。その影響で私も家の家電をソーラータイプに切り替えたり、将来的には家の屋根に太陽光パネルを乗せたいと考えています。

社員はみんなフレンドリーで、お客さまから「みんな仲が良いから、この会社に来たら元気をもらえる」と言われた時は、すごく嬉しい気持ちになります。

D. T. 入社3年目 現場担当

富士興産に入社して良かったことは、残業がないため、定時に家に帰って子どもと一緒に風呂に入ったり、スキップが取れることです。以前に勤めていた会社ではできなかったのが、平日に育児の時間が持てるようになったのは非常にありがたいです。また自分の時間も持てるようになったので、最近はおちとした投資活動を始めました。同僚や上司はみんな優しくて穏やかな人ばかりなので、職場はとても過ごしやすい環境です。

Y. M. 入社2年目 現場担当

富士興産に入社してまだ2年未満ですが、この短い間に倉庫に大型空調機を導入してくれたり、休憩室の改装など、次々と社員が働きやすい環境を整備してくれました。職場環境がどんどん良くなっているのを実感しています。また意見を言いやすいうえ、いい意見はすぐに取り入れてくれるなど、以前に勤めていた会社とのギャップがすごいなと感じています。

今の仕事はレアメタルのリサイクルですが、地球環境の保全に貢献しているという誇りをもって日々の仕事に取り組んでいます。



サステナビリティに関する取り組み



サステナビリティに関する考え方

レアメタルのリサイクル事業を展開する企業として、限りある地球資源の保護に努め、循環型社会の形成に貢献してまいります。

地域コミュニティの一員として積極的に地域活動に参画し、みなさまとともに持続可能な社会の実現を目指してまいります。

ガバナンスに関する考え方

「誠心誠意お客さまの要望に応じていく」という経営理念に基づき、お客さまや地域社会から信頼される企業として、最適な経営体制の構築に努めてまいります。

SDGs達成に向けた取り組み

これまでのSDGs活動のあゆみ

2022

- 1月 全役職員向けにSDGs勉強会を実施
- 2月 社内にSDGs推進プロジェクトチームを立ち上げ、本格的な取り組みを開始
- 4月 バリューチェーンマッピングを作成し、マテリアリティを特定
- 9月 2030年までに達成を目指すSDGs目標を設定
SDGs目標を達成するためのアクションプランを決定
- 10月 SDGs宣言を作成し、对外公表を実施
- 11月 SDGsの進捗状況を確認する打ち合わせを開始（隔月開催）

2023

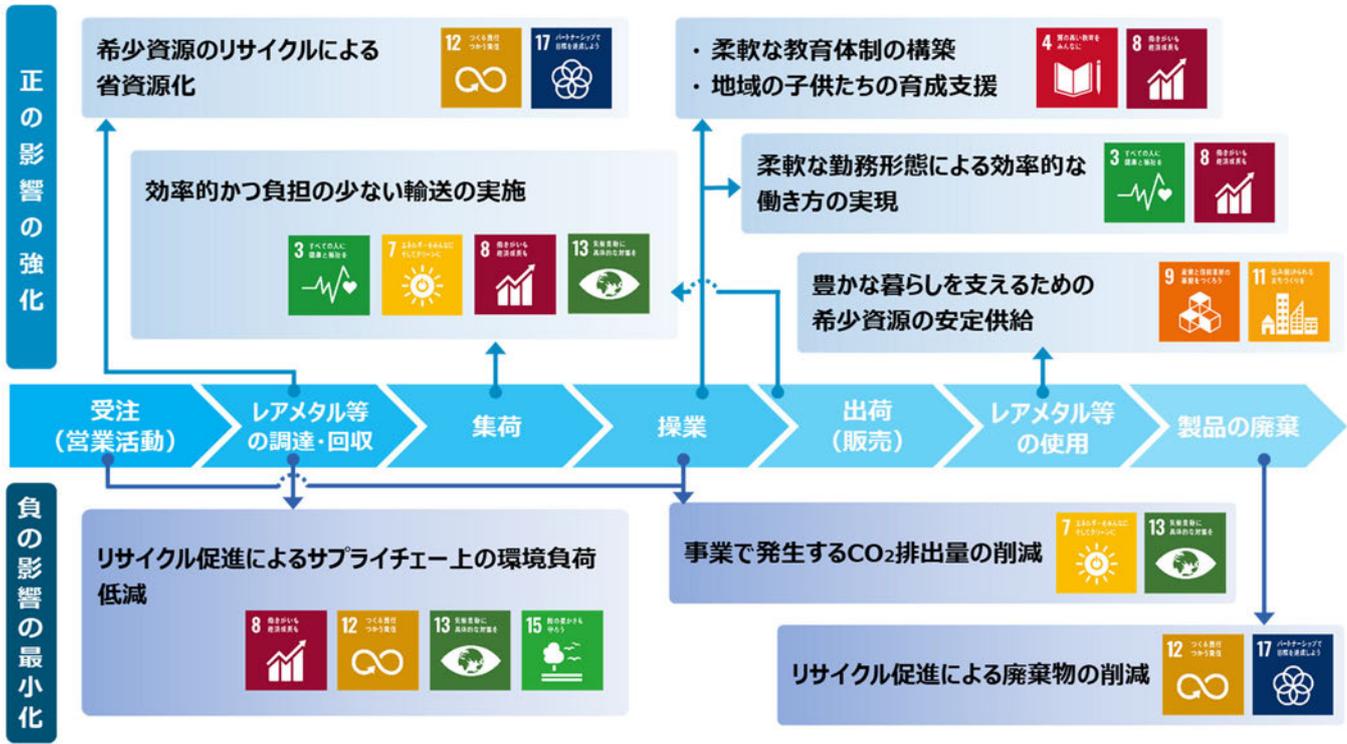
- 1月 全社員向けにSDGs目標を共有
- 10月 温室効果ガス排出量削減目標に関する国際認定 SBT認定を取得

2024

- 1月 全社員向けにSDGsの進捗状況について報告
- 2月 SDGsに関する社内報を発刊

バリューチェーンマッピング

当社の事業活動が、バリューチェーン全体を通じて環境や社会にどのような影響を及ぼすかを整理し、SDGsの達成に正の影響を及ぼす項目と負の影響を及ぼす項目を明確にしました。SDGsの達成を目指して、正の影響を強化するとともに、負の影響を最小化すべく事業活動に取り組んでまいります。



富士興産の紹介

サステナビリティに関する取り組み

環境

マテリアリティ (重要課題)

当社にとって特に重要度の高い課題を自社事業への影響度とステークホルダーの関心度の2軸で検討を行い、4つのマテリアリティを特定しました。2030年のSDGs達成に向けて、全社員、お客さま、地域のみなさまとともに推進してまいります。

特定したマテリアリティー一覧

マテリアリティ	主な取り組み
レアメタルのリサイクルを通じた持続可能な社会の実現	①希少資源のリサイクルによる省資源化 ②サプライチェーン上の環境負荷等の低減 ③豊かな暮らしを支えるための資源の安定供給 ④リサイクル促進による廃棄物の削減
カーボンニュートラル社会実現への貢献	①CO ₂ 排出量の削減 ②効率的かつ負担の少ない輸送の実施
働きやすい職場づくり、社員と地域の子どもたちの成長支援	①柔軟な教育体制構築と地域の子どもたちの育成支援 ②柔軟な勤務形態による効率的な働き方改革
地域社会との共生	地域の活性化に資する活動への積極的な参画

社会

地域との共生

SDGsの達成に向けた主な目標

特定したマテリアリティについて、2030年までに達成すべき指標と目標を設定し、社員一丸となって取り組んでいます。

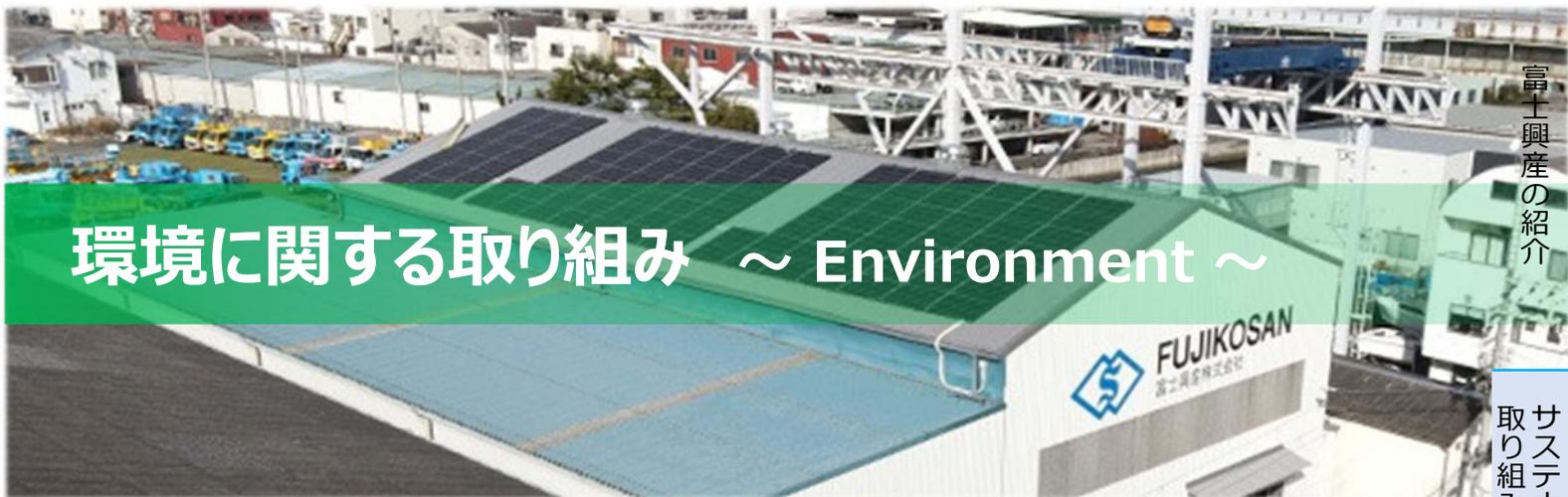
主な指標 (KPI)	2030年目標	2023年度実績	達成を目指すSDGs
レアメタル販売量	20,000t/年	9,795.86t/年	11 住み続けられるまちづくりを 12 つくる責任 つかう責任 17 パートナリシップで 目標を達成しよう
鉄・非鉄金属の取引量	2,000t/年	954.79t/年	11 住み続けられるまちづくりを 12 つくる責任 つかう責任 17 パートナリシップで 目標を達成しよう
Scope1,2排出量	85.8t-CO ₂	187.23t-CO ₂	7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに 13 気候変動に 具体的な対策を
SBT認定の取得	認定取得	認定取得済	13 気候変動に 具体的な対策を
健康経営優良法人認定の取得	認定取得	認定取得済	3 すべての人に 健康と福祉を 8 働きがいも 経済成長も
年平均残業時間	1.5時間/年	0時間/年	3 すべての人に 健康と福祉を 8 働きがいも 経済成長も

SDGs宣言

SDGsについて賛同し、持続可能な社会の実現に向けて積極的に取り組んでいくことを社内外に宣言するため、2022年10月にSDGs宣言書を作成・公表しています。

宣言の内容

宣言内容	関連するSDGs
1. レアメタルのリサイクルを通じた持続可能な社会の実現 当社では、私たちの豊かな暮らしを支える様々なものに使用されているレアメタルのリサイクル販売を行い、希少資源の有効活用に取り組んでいます。今後、取引先との関係をさらに強化し、レアメタルの安定供給を進めることで、希少資源の有効活用促進、採掘時の環境負荷低減や児童労働機会の削減に貢献し、持続可能な社会の実現を目指してまいります。	11 住み続けられるまちづくりを 12 つくる責任 つかう責任 13 気候変動に 具体的な対策を 15 陸の豊かさも 守ろう 17 パートナリシップで 目標を達成しよう
2. カーボンニュートラル社会実現への貢献 現在、太陽光発電や燃料電池自動車の導入など、CO ₂ 排出量削減に向けた取り組みを積極的に進めています。今後は、削減目標を掲げることでさらにCO ₂ 排出量の削減に注力し、世界が目指す「カーボンニュートラル社会」の実現に貢献してまいります。	7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに 13 気候変動に 具体的な対策を
3. 働きやすい職場づくり、社員と地域の子どもの成長支援 残業時間削減や有給休暇の取得促進など、働きやすい職場の醸成に注力すると共に、社員の育成や地域の子どもの育成にも努めています。今後は、今以上に社員全員が健康で高いモチベーションを維持しながら働き続けることができる環境を構築すると共に、引き続き社員教育や資格取得の支援に注力してまいります。	3 すべての人に 健康と福祉を 4 質の高い教育を みんなに 8 働きがいも 経済成長も



環境に関する取り組み ~ Environment ~

環境に関する考え方

循環型社会の一翼を担う企業である自覚をもち、事業活動の継続的発展を通じて、組織全体で真摯に環境負荷軽減に取り組んでまいります。

希少資源のリサイクルだけでなく、気候変動問題の対応にも積極的に取り組み、地球環境の保全に貢献してまいります。

希少資源のリサイクル

「レアメタル」「レアアース」は、私たちの豊かな暮らしを支える様々なものに使用されていますが、埋蔵量が非常に少なく、希少価値の高い非鉄金属です。そして、これらの採掘や製錬は環境に大きな影響を及ぼすと言われ、採掘現場での労働環境も問題視されています。

また、カーボンニュートラル社会の実現に必要な再エネ発電やEVには、リチウムやニッケル、コバルト等の希少鉱物は欠かせない資源であり、安定的に確保していかなければなりません。

当社では、専門業務である「レアメタル」「レアアース」の回収・リサイクルを通じて、採掘に頼らない希少資源の市場への提供に注力し、環境問題等の社会課題の解決に貢献してまいります。

		システム・要素技術	必要となる主な鉱物資源
再生可能エネルギー部門	発電・蓄電池	風力発電	銅、アルミ、レアアース
		太陽光発電	インジウム、ガリウム、セレン、銅
		地熱発電	チタン
		大容量蓄電池	バナジウム、リチウム、コバルト、ニッケル、マンガン、銅
自動車部門	蓄電池・モーター等	リチウムイオン電池	リチウム、コバルト、ニッケル、マンガン、銅
		全固体電池	リチウム、ニッケル、マンガン、銅
		高性能磁石	レアアース
		燃料電池（電極、触媒）	プラチナ、ニッケル、レアアース
		水素タンク	チタン、ニオブ、亜鉛、マグネシウム、バナジウム

【出所】経済産業省 資源エネルギー庁「2050年カーボンニュートラル社会実現に向けた鉱物資源政策」令和3年2月15日

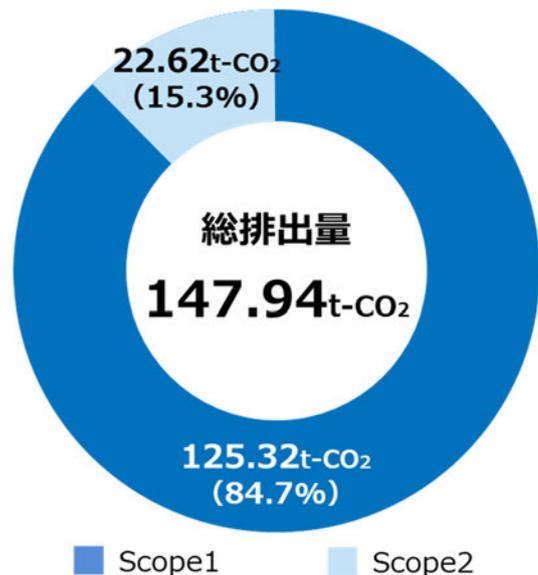
気候変動問題への対応

SBT認定の取得

気候変動問題への対応として、当社事業で発生する温室効果ガス排出量の削減目標を設定し、2023年10月にSBT認定を取得しました。目標達成に向けて脱炭素経営を推進してまいります。

温室効果ガス削減目標

● 基準年（2022年度）の排出量



※Scope1 … 事業者自らによる温室効果ガスの直接排出
Scope2 … 他社から供給された電気、熱・蒸気の使用に伴う間接排出

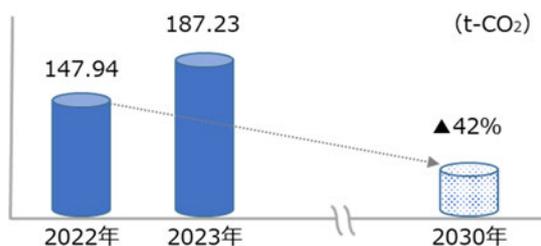
● 2030年の削減目標とSBT認定

2022年度の排出量を基準として、

Scope1,2合計で42%削減



● 2023年の排出量実績



【ひとくちメモ】 SBT (Science Based Targets) とは？

気候変動問題に関する国際的な枠組みであるパリ協定が求める水準と整合した、企業が設定する「温室効果ガス排出削減目標」のこと

再生可能エネルギーの利用

再生可能エネルギーの創出

カーボンニュートラル社会の実現に向けて、2022年1月に大正倉庫の屋根に太陽光パネルを設置し、再生可能エネルギーの発電を開始しています。

発電した電気は、すべて大正倉庫で使用する電気に充当し、同倉庫における排出量削減に取り組んでいます。

発電開始以来、15.8t-CO₂相当の削減効果を得ることができています（2024年6月末時点）。



再エネ発電管理ソフトによる発電量の把握

再エネ発電管理ソフトを導入し、大正倉庫の太陽光パネルによる発電状況や発電量、CO₂排出量の削減量を可視化しています。

当社が利用するスマート管理システム ▶



再エネメニューへの切り替え

大正倉庫で使用する電気について、2023年7月に再エネ50%メニューへの切り替えを行いました。太陽光発電と合わせて更なる排出量削減に努め、カーボンニュートラル社会の実現を目指しています。



【ひとくちメモ】再生可能エネルギーとは？

太陽光発電や風力発電など、自然由来の永続的に利用することが可能なエネルギーのこと。発電時に温室効果ガスを排出しない環境にやさしいエネルギー

その他のCO₂排出量削減の取り組み

燃料電池自動車の利用

カーボンニュートラル社会の実現を目指して、2021年3月に社用車としてトヨタ自動車の燃料電池車（FCV）「新型MIRAI（ミライ）」を導入するとともに、営業車のハイブリッド車への入れ替えも行っています。



バッテリー式フォークリフトの導入



2023年9月と2024年5月には、フォークリフトをバッテリー式に変更するなど、車両使用に伴うCO₂排出量の削減に取り組んでいます。

水素ガス切断機の導入

金属の切断に使用する切断機を水素燃料式の切断機に変更し、切断作業に伴うCO₂排出量ゼロを実現しました。



環境負荷の低減に向けた取り組み

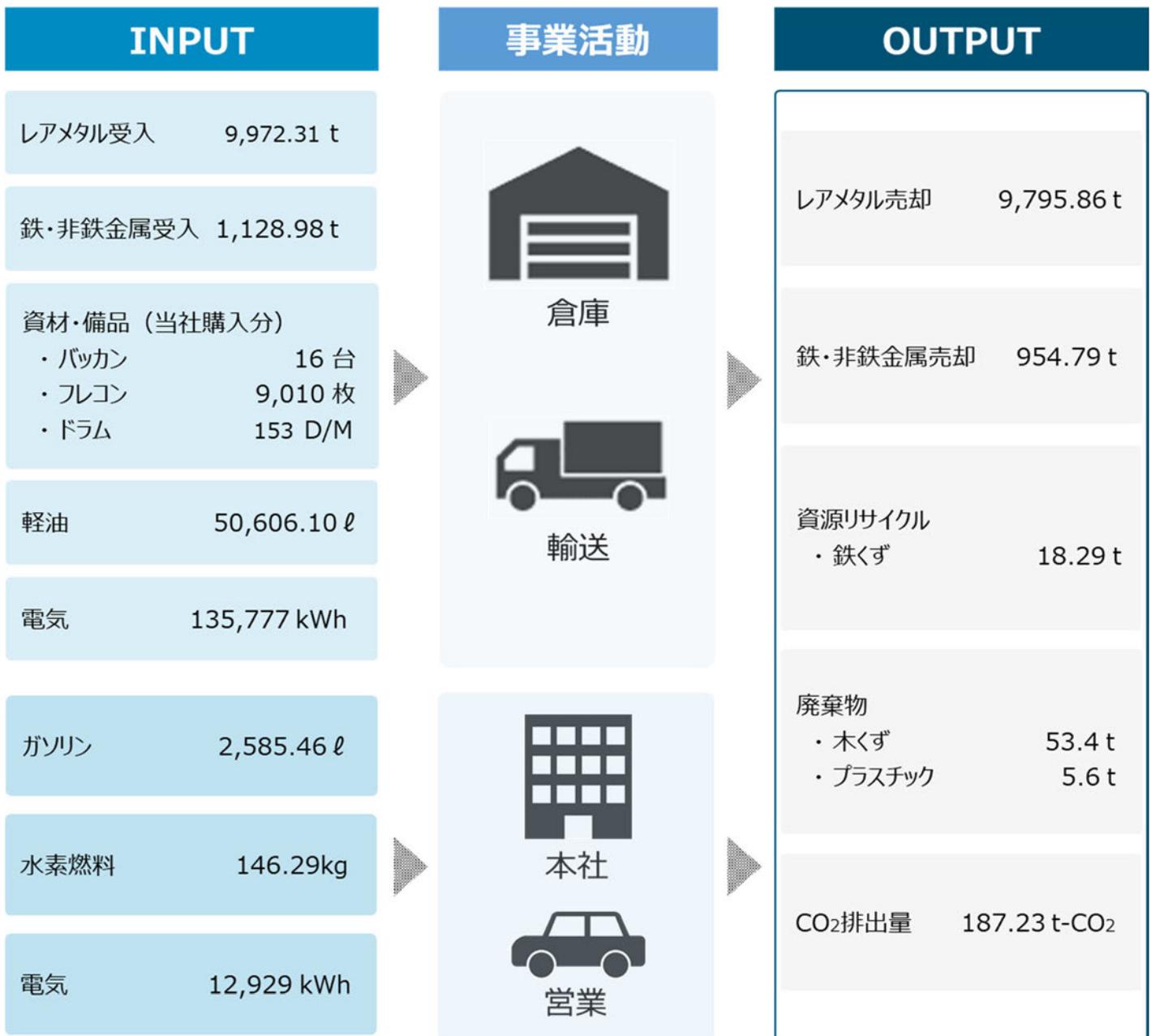
希少資源のリサイクルや気候変動問題への対応以外にも、環境負荷の低減につながる取り組みを行い、地球環境の保全に努めています。

ペーパーレスの取り組み

デジタルツールの活用やファックスの利用機会見直しにより、業務で使用する紙資料の削減に取り組んでいます。

当社のマテリアルバランス

当社の事業活動における環境負荷を把握するとともに、これらの削減に取り組んでいます。



【ひとくちメモ】マテリアルバランスとは？

事業活動における資源やエネルギーの投入量（＝インプット）と、その事業活動に伴って発生する廃棄物やCO₂排出量など（＝アウトプット）をあらわしたもの

社会に関する取り組み ～ Social ～

社会に関する考え方

自社の存在意義を地域を含めた社会の一員であると認識し、社内で働く人のワーク・ライフ・バランスの最適化に尽力するだけでなく、地域子ども達に成長・学びの機会を創出し、支援いたします。

ワーク・ライフ・バランス

基本的な考え方

創業以来、当社では「社員教育による少数精鋭な会社」という基本方針を掲げています。これは社員の成長が会社の成長との考えで、一人ひとりの個性とスキルを大事に育てていくとしたものです。社員をひとくくりで見のではなく、個人として向き合い、仕事だけではなく、各々の生活スタイルを尊重し、社員自らが働き甲斐のある会社としてロイヤリティを高めていくことが、企業利益につながると信じております。そのためには、社員ファーストの視点でサポートを行い、仕事もプライベートも充実した環境にすることが肝要と心がけ、これからもアイデアを出しながら取り組んでいきます。



【ひとくちメモ】 ワーク・ライフ・バランスとは？

仕事の時間とプライベートの時間のバランスがとれた状態のこと（仕事と生活の調和）

有給休暇の取得促進

当社では、働き方改革の推進に加えて、当社指定の「休業日」を設けて連続休暇となるように工夫したり、上司から部下へ有給休暇を取得するよう積極的な働きかけを行うなど、「有給休暇取得率100%達成」を目指して全社あげて尽力してまいりました。

2022年度に続き、2023年度についても100%を達成しました。引き続き取得率100%を維持してまいります。

時間外労働削減の取り組み

当社では常に創意工夫しながら業務の効率化に努め、時間外労働の削減に取り組んでいます。

【主な取り組み】

- 多様な商材をIT管理にすることで、棚卸・在庫管理の効率化を実現
- 働き方に柔軟性をもたせることで、幅広い時間帯でお客様の要望にお応えしつつ、時間外労働の削減も実現



勤務形態見直しによる業務効率化

倉庫業務の勤務時間を2シフト制（早出・遅出）に変更することで柔軟な荷受・出荷対応を可能とし、作業効率のアップやトラックの待機時間削減を実現しました。結果として時間外労働の削減や個々の社員それぞれの都合に合った出退社を可能にし、社内外から好評を得ています。

ワーク・ライフ・バランスに関する社員の声



仕事が過密にならないように会社が仕事量を調整してくれたり、トラックを運転する距離は日帰りできる距離の範囲内に設定してくれるなど、様々な配慮があるので無理なく働くことができます。

入社4年目 配送担当

残業がなく、土日も休みなので心身ともに余裕ができ、結果として仕事にも余裕が持てるようになりました。今では、休みの日に「平日仕事を頑張ろう！」と思えるようになりました。

入社3年目 現場担当

これまではなかなか時間が取れないため、行きたい日に釣りに行くことが難しかったのですが、富士興産に入社してからは毎日定時に帰宅できるので、趣味に没頭する時間が持てるようになりました。

入社6年目 現場担当

残業が実質ゼロなので、終業後は子供を迎えに行くこともできるし、育児にも関わられます。富士興産は子育て世代の社員が多いので、みんな助かっています。

入社7年目 現場担当

有給休暇を取得しやすいので、昨年から地域行事にも参加するようになりました。仕事を通じた社会貢献だけでなく、プライベートでも地域貢献ができるようになりました。

入社19年目 現場担当

2シフト制（早番・遅番）の導入により会社としての稼働時間が長くなり、効率がぐんと上がりました。仕事の効率が上がった結果、有給休暇が非常に取得しやすくなりました。

入社14年目 現場担当

富士興産の紹介

職場環境の改善

当社では、社員全員が健康で安心して働くことができるように、職場環境の継続的な改善に積極的に取り組んでいます。

サステナビリティに関する取り組み

職場のリニューアル

本社事務所のリニューアル

2023年9月、SDGsを推進する企業として、社員のSDGsに対する意識をさらに高めるとともに、明るく和やかな雰囲気を出せる職場環境を目指して、本社事務所をリニューアルしました。

環境に配慮した経営を行う企業らしく、社内緑化に取り組み、「小さな公園」をイメージしたオフィスとして生まれ変わりました。



環境

倉庫のリニューアル

現場で働く社員が心地よく仕事ができるように、2023年8月に大正倉庫を大幅にリニューアルしました。

更衣室や喫煙ルームの設置、社員がくつろげるリフレッシュスペースを設けるなど、快適な職場環境づくりに努めています。リフレッシュスペースは無料のドリンクを備え、社員同士のリラックスした交流の場にもなっています。



社会

倉庫に大型空調設備を導入

冬季は寒く、夏季はどうしても高温になってしまう倉庫ですが、寒さ対策・熱中症対策および社員の働きやすい職場環境を維持するために、倉庫内に大型の空調設備を設置（2022年7月）しています。

社員からは、導入前に比べてかなり働きやすくなったとの意見が多く聞かれるなど、職場環境改善に一役買っています。



地域との共生

職場環境の改善に関する社員の声



トラックの装備や夏場の冷却アイテムなど、私たちが会社に要望すれば基本的にしっかりと対応してくれます。いつも会社の社員に対する思いやりを感じています。

入社4年目 配送担当

倉庫の大型空調導入やスロープの張替え、休憩スペースの整備、照明の改善など、会社が職場環境の改善に積極的に取り組んでくれるので、今では職場は過ごしやすくなり、気持ちも明るくなりました。気持ちが明るくなったことで、仕事も前向きに取り組めるようになりました。

入社6年目 現場担当

冬季は暖房に加え、社員の要望を反映した作業がしやすい厚手のジャケットを導入してくれました。社員の要望にしっかりと耳を傾けてくれる会社であり、社員を大事にしようという意識・考えがある会社だと感じています。

入社2年目 現場担当

これまでは自分たちで職場を掃除していましたが、外部委託してプロの清掃業者による清掃に切り替わりました。その結果、朝の掃除の時間が空いたので、ストレッチをするなど有効に活用できるちょっとした時間が持てるようになりました。

入社14年目 現場担当

会社が社員のためにドリンクを無料で常備してくれるようになり、特に夏場の水分補給など、とても助かっています。

入社14年目 現場担当

従業員エンゲージメントの向上

当社では、従業員エンゲージメントを高めることで、社員と会社の一体感を醸成し、一人一人が高いモチベーションで仕事に取り組むことができるように努めています。



【ひとくちメモ】従業員エンゲージメントとは？

社員が会社の理念、目指す方向性に共感し、自発的に「会社に貢献したい」と思う意欲のこと

SDGs社内報の発刊

全社員のSDGsに対する意識を高め、全社員が「自分ごと」としてSDGsに取り組めるように、SDGsに関する社内報を新たに創刊しました。今後定期的に発信し、社員一丸となって目標達成を目指してまいります。



富士興産の紹介

サステナビリティに関する取り組み

社内サークル活動のサポート

会社と社員が共に成長し、企業文化を育てることを目的として、2024年3月に「サークル活動規程」を制定しました。今後、社員の自主的なサークル活動に対して助成を行うことで、社員のエンゲージメントをさらに高めてまいります。



環境

社員の誕生日への対応

毎年、社員の誕生日には地元の人気洋菓子店の商品から本人が欲しいものを選んでもらい、会社からプレゼントしています。本取り組みは社員本人はもちろんのこと、家族にも大変好評を得ています。



社会

地域との共生

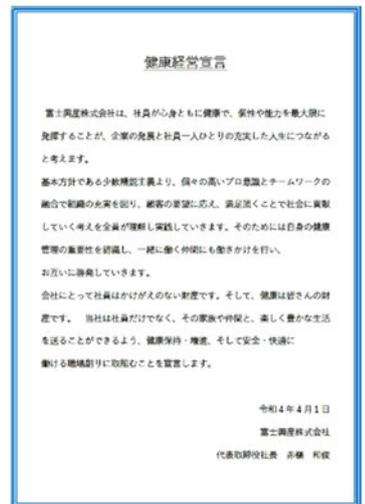
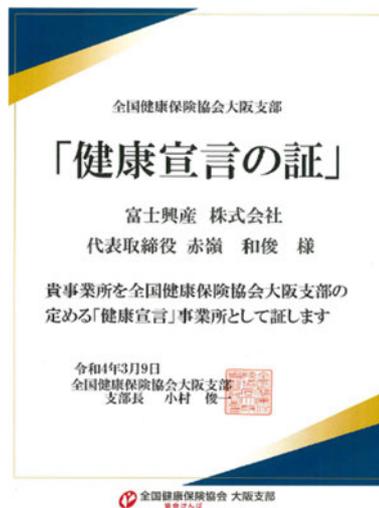
健康経営

「健康宣言」事業所の登録

当社では社員の健康管理の重要性を認識し、積極的に健康増進活動を推進しています。

2022年3月には、全国健康保険協会大阪支部に健康宣言を行い、「健康宣言」事業所として認定されました。

同年4月には、「健康経営宣言」を策定し、健康を維持増進できるような職場づくりを行うことを社内外に宣言しました。

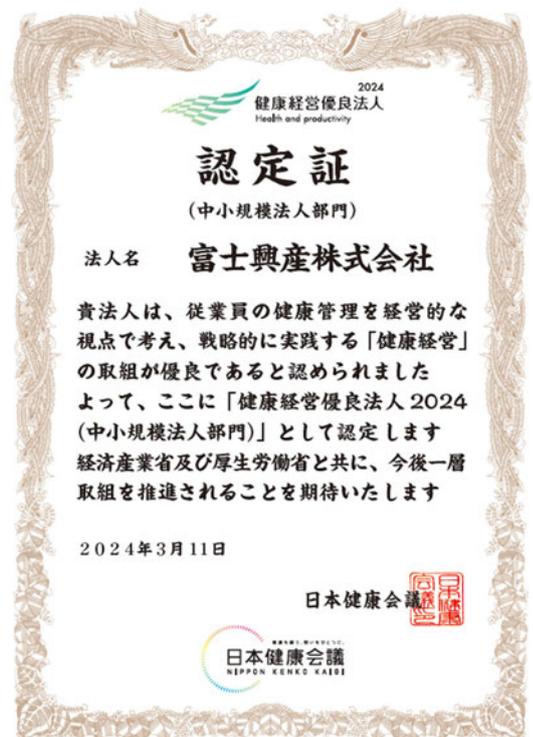


健康経営優良法人認定の取得

「社員の健康が、会社の未来を創る」考えのもと、当社では健康経営に取り組んでいます。

働く社員の心の健康と体の健康の維持と向上、そして、会社生活を通して、より健康的な生活習慣定着のため、様々な取り組みを行っています。

2024年3月には、2年連続となる「健康経営優良法人（中小企業法人部門）」認定を取得しました。



設置型社食サービスの導入

「健康経営」を推進するための取り組みとして、2023年8月に設置型社食サービスを導入しました。

栄養管理士が推奨する惣菜、サラダ、フルーツ、スイーツやドリンクを豊富に取りそろえ、特に不足しがちな野菜の摂取にも役立つため、社員にも好評です。また社員が利用しやすいように、購入費用の半額を会社負担としています。



健康経営に関する社員の声



会社が健康アプリを導入してくれたおかげで、毎日歩いた歩数を確認するようになりました。今まで意識しなかった歩数を毎日振り返る習慣が身につくようになって良かったです。

入社6年目 現場担当

会社が健康経営推進の一環で導入した健康アプリの導入がきっかけで、プライベートでウォーキングラリーに参加しました。

入社7年目 現場担当

設置型社食サービスは、会社が購入費用を半額補助してくれるのでごく安く、多くの社員が利用しています。奥さんにお弁当を作ってもらわなくてもよい日を設けることができるようになりました。

入社7年目 現場担当

会社の費用補助がきっかけでジム（プール）に通うようになりました。雨の日も風の日も通っています。また有酸素運動を1年継続して9kgのダイエットにも成功しました。

入社19年目 現場担当

会社が導入した健康アプリのおかげで積極的に歩くようになりました。

入社19年目 現場担当

会社が健康経営に取り組み始めたことがきっかけで、自分自身の食生活を意識するようになりました。

入社14年目 現場担当

人材育成

人材に関する考え方

当社で働く社員は「当社の人財である」として、多様性の受容、学びの機会支援、健康経営に努め、本人の成長及び豊かな人生実現に向けて、組織として最大限の貢献をいたします。

資格取得のサポート

「個人の能力向上」と「業務の生産性向上」を目的に、当社では組織的に社員の資格取得を支援しています。倉庫では個人の業務負担に偏りが生じないよう、「作業の平準化」と「多能工化」を推進し、事務所では、学びのテーマに自由度を持たせ、社員本人の意志を尊重した資格取得をサポートしています。

また、業務に必要な免許や資格を計画的に取得するため、全社員の保有状況を可視化し、全面的にサポートしています。

倉庫 免許・資格保持者一覧

免許・資格	A氏	B氏	C氏	D氏	E氏	F氏	G氏	H氏	I氏	J氏	K氏	L氏	M氏
普通運転免許	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
中型運転免許	○	○	○	○ 8t限	○	○	○	○	○	○	○	○	○
大型運転免許	○	△	○	△	○	△	△	△	○	△	○	△	△
フォークリフト技能講習	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
玉掛技能講習	○	○	○	○	△	○	○	○	○	△	○	△	○
ガス溶接技能講習	○	○	○	○	△	○	○	○	○	△	○	△	○
アーク溶接特別教育	○	○	○	○	△	○	○	○	○	△	○	△	○
床上操作式クレーン講習	○	○	○	○	△	○	○	○	○	△	○	△	○
天井クレーン	△	△	△	△	△	△	○	△	△	△	△	△	△

社内SDGsクイズ大会の開催

全社員のSDGsに対する理解を深めるために、ゲーム感覚で楽しみながらSDGsについて考える「SDGsクイズ大会」を開催しました。当日は全社員が参加し、成績上位者にはSDGsの関連グッズを贈呈するなど大いに盛り上がりました。贈呈グッズ自体をSDGsビジネスから生まれた商品に限定することで、単に知識を深めるだけでなく、クイズ大会そのものがSDGsに貢献するものとして、これからもSDGsの学びを深めるイベントとして継続してまいります。

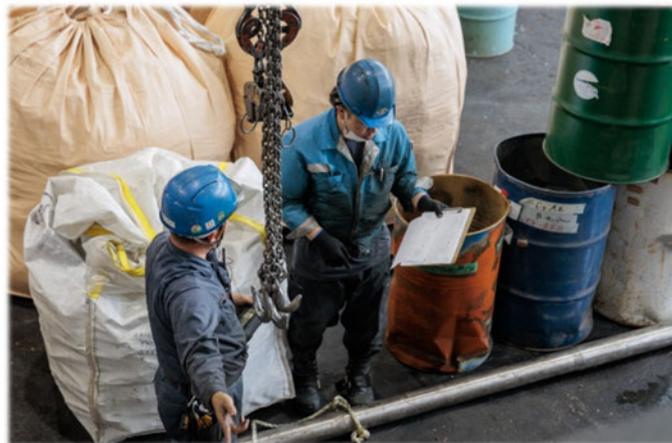


業界他社との交流（視察研修）

2024年6月、同業他社との交流および当社社員の業界に関する知識をさらに高めるために、当社と同様の事業を展開している企業に訪問し、視察研修を行いました。当日は新しい気付きや学びが多くあり、大変有意義な1日となりました。



人材育成に関する社員の声



自分が先輩から教えていただいた経験を活かし、単に作業を教えるだけではなく、行動の意味・目的を教えながら指導できるように心掛けています。

入社3年目 現場担当

倉庫の仕事なので外部研修はないと思っていましたが、積極的に参加させてもらえるので、非常にびっくりしました。また自分が取りたい資格があれば気兼ねなく申請できるなど、会社の教育サポートがしっかりしています。

入社2年目 現場担当

社員を指導する際は、どれだけやる気を引き出せるかを意識しています。押し付けるのではなく、自然と取り組めるような育成を常に心掛けています。指導には「笑い」が重要だと考えていますので、冗談を交えるなど緊張感を解いて質問しやすい雰囲気をつくるように意識しています。

入社19年目 現場担当

自分のやり方が正解とは限らないので、若手社員も含めて他の社員の意見もしっかりと聞きながら多角的に業務を行うようにしています。

入社19年目 現場担当

人材育成に関して課題と思われる社員の声

当社には業務マニュアルがないため、逆に自分で考える力が身につくのではないかと考えています。しかしながら、会社としてマニュアルを整備することで新人の不安を少なくできると思われ、教える側も振り返る機会になり、負担も少なくなると思います。

入社6年目 現場担当

作業内容の振り返りができるので、業務マニュアルがあった方がよいと思います。

入社2年目 現場担当

業務マニュアルが整備されていないという声が複数の社員からあがりました。業務マニュアルがないことをプラスに捉える社員も複数いますが、当社としては課題として認識し、2024年度以降に業務マニュアルを整備していく予定です。

地域との共生 ～地域への貢献～

富士興産は、地域社会に根ざして愛される企業を目指して、コミュニティの一員として主体的に社会に関わり、積極的な社会貢献活動を行うことを心がけています。

地元教育機関への備品寄贈

当社は、バスケットボールBリーグの「大阪エヴェッサ」のチャリティーパートナーとして、地域の社会貢献活動に取り組んでいます。同チームの“子ども達が大好きなバスケットボールに思いっきりチャレンジできる環境を整えたい”という想いに賛同し、地元の小学校への連絡帳寄贈や地元中学校へのバスケットボールの寄贈を行い、将来を担う子どもたちの健全な心身の育成・発達を支援しています。



【エヴェッサチャリティーパートナーとは】
大阪でバスケットボールをする子どもたちの環境面等の課題解決を大阪エヴェッサと共に取り組む企業

「大阪エヴェッサノート れんらくちょう」の寄贈

2024年4月に大阪市浪速区内の公立小学校に入学した1年生全員に「大阪エヴェッサノート れんらくちょう」を3年連続で寄贈し、大阪市長からの感謝状をいただきました。



2022年度・2024年度寄贈の連絡帳



2023年度寄贈の連絡帳

バスケットボールの寄贈

大阪エヴェッサのチャリティパートナー事業として、2021年9月に大阪市大正区内の市立中学校4校にバスケットボールを各6球、計24球を寄贈しています。



富士興産の紹介

サステナビリティに関する取り組み

まいしま 舞洲 (大阪市) プロジェクトへの参画

当社は、舞洲の活性化・都市魅力の向上を目指す「舞洲プロジェクト」に公式パートナーとして参画しています。同プロジェクトによる大阪市内の小学生を対象としたオリジナル副読本「舞洲SDGsハンドブック」の作成にも協賛し、授業等で活用できるよう大阪市内立小学校の5年生と6年生全児童への配布に協力しました。

環境



社会

地域との共生

さいごに

巻末でのお知らせになりますが、このたび当社富士興産株式会社におきましては、原料リサイクル事業を分離独立させ、新会社として2024年（令和6年）10月1日より業務を開始することといたしました。

新会社の社名は**富士マテリアル株式会社**

当社従来の実務業務を社員スタッフ共に継承し、業務内容の変更などはございません。また当社富士興産株式会社につきましては、新会社の支援を中心とした資産管理会社として運営してまいります。

つきましては、今回のサステナビリティレポートで紹介した、富士興産の取り組み内容全てのバトンを新会社へつないで参ります。

富士興産の掲げるビジョンを受継ぎ、レアメタルリサイクラーとして循環型経済における新しい取り組みを考え、持続可能な社会の実現への貢献を目指して邁進いたします。

社員一同決意を新たにして、一層の進展に努めてまいります所存でございます。

次回のサステナビリティレポートは**富士マテリアル株式会社**として、より充実した内容としてお届けしたいと存じます。引き続きご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。



富士マテリアル株式会社



富士マテリアル株式会社

大阪市浪速区元町1丁目5番7号 ナンバプラザビル10階

富士興産株式会社

代表取締役社長 赤嶺和俊

代表取締役 小川眞弓

大阪市浪速区元町1丁目5番7号 ナンバプラザビル10階

富士マテリアル株式会社

代表取締役社長 西尾 一

取締役副社長 王 建強

常務取締役 小川亮太

— 新会社の概要 —

商号 富士マテリアル株式会社

所在地 〒556-0016

大阪市浪速区元町1丁目5番7号 ナンバプラザビル10階

電話 06 (6630) 7066

設立 2024年（令和6年）10月1日

資本金 5千万円

事業内容

1. 非鉄金属、レアメタル、レアアースのスクラップ原料の集荷・加工並びに販売
2. 上記原料の輸出入貿易
3. 上記各号に附帯する一切の事業

以上



FUJIKOSAN CO., LTD.
富士興産株式会社

FUJIKOSAN CO., LTD.
富士興産株式会社

◆本資料のお問い合わせ先
〒556-0016
大阪市浪速区元町1丁目5番7号（ナンバプラザビル10階）
TEL 06-6630-7066
FAX 06-6630-7067
URL <https://www.fujikosan.jp>

発行日 2024年10月1日